

全体で共有すべき内容＝配布資料に記載すべき事項

【分科会1】

「東日本大震災における岩手県でのボランティア活動、及び東北3県以外の被災地でのボランティア活動」

【これまでの取組を通じて明らかになった課題（今後の課題も含む）について】

- ・ 高速代金、移動にかかるコストの支援について
 - ・ 個人ボランティアの交通費補助については検討が必要
- ・ 支援物資を送る側の論理がまかり通っていた
- ・ 後方支援より現場のコーディネータの能力が必要。
- ・ よりそい・漁業支援を行うことになっても、専門知識がない
- ・ 雇用創出してもミスマッチがある。
- ・ 地域間でのテリトリー争い

【今後の取組の展望（注目すべき視点、注目できる事例なども含む）】

- ・ 生業支援、生活支援
- ・ どこまでを防災ボランティアとするか、どこまで取り組むのか
- ・ 広域支援のネットワーク
 - ・ 顔と顔の見えるつながりの構築を平時より築く
 - ・ 自治体間の協定
- I T 面でボランティアしたい人達はいる。つながりができればよい。
- ・ 裾野の広がったことによるボラの質的变化。
- ・ 亡所マップを確認してほしい。立地をもっと考慮する。
- ・ よりそい支援と専門的支援を担えるボランティアとはどのような人達なのかを考える必要がある。
- ・ 地域の団体間の連携が弱かった。これまで I T を通してつながり合いは出てきているが、それがコンフリクトを乗り越えるクリエイティブな連携になればよい。
- ・ ボランティアの活動について、時期によって役割は異なる。乗り越えなければならない課題はある。ミスマッチもある。具体的な問題でつぶしていく。お互いの状況を理解し、相互理解をしていく。積み上げていかなければならない。
- ・ よりそいの時期に必要なことを考える。